

令和 8 年 3 月 1 1 日

目黒区教育委員会教育長 宛て

目黒区立烏森小学校
校長 丸山 智子

令和 7 年度 目黒区立烏森小学校 学校評価報告書

1 学校評価委員会の実施内容

- (1) 第 1 回実施日時 令和 7 年 5 月 3 1 日 (土) 午前 1 2 時 3 0 分～午後 1 時 3 0 分
- (2) 第 2 回実施日時 令和 7 年 9 月 2 0 日 (土) 午前 1 2 時 3 0 分～午後 1 時 3 0 分

2 参加者

- ・学校評議員 (岩間典子様、浅川博人様、田村秀子様、芝田重実様、一見貴重様)
- ・校長・副校長

3 評価の結果等

※四者…児童・生徒、保護者、地域の方、教職員のこと。

評価項目	◎ (成果)、● (課題)、 ◎ (成果と課題の両者を含む)	次年度の教育活動の改善点	学校評価委員会での意見 (学校運営協議会での意見)
I 学校全体について ・学校の雰囲気、学習環境、教職員の態度などについて、家庭・地域との連携、地域人材の活用などについて	◎四者ともに肯定的な評価が 9 割以上であり、学校教育活動全体への評価は概ね良好であった。 ◎保護者の「E 分からない。」が減少した。日々の教育活動や学校行事、学校だより・ホームページ等を含めた情報発信を通して、教育活動への理解が深まった結果であると考えます。	・引き続き学校教育活動を充実させ、学校公開や学校行事での児童の姿や学校だより・ホームページ等を通して、情報発信に努める。 ・令和 9 年度の開校 100 周年に向けて、保護者・地域と連携しながら、児童の思い出に残る様々な学校行事や企画・準備し、雰囲気を盛り上げていく。	・学校全体が落ち着いているように感じる。引き続き、情報発信に努めてほしい。
II 教育目標について ・教育目標、時程、教育内容全体について	◎保護者の学校評価は、89.5% (+2.0%) となり、「思いやりのある子」を重点とした教育目標が理解されたものであると考	・今後も、教育目標に向けて、日々の教育活動の充実に努め、保護者・地域に情報発信していく。	・保護者・地域への周知もすすんでいるように思うが、引き続き、情報発信をお願いしたい。

	<p>える。</p> <p>●地域の学校評価は改善したものの、83.3%(+7.6%)に留まっており、地域への情報発信が課題である。</p>		
<p>Ⅲ 心の教育について</p> <p>・道徳科の授業の充実や児童・生徒の道徳的実践力の向上に向けた取組について</p>	<p>◎日々の道徳授業や道徳授業地区公開講座、人権教育推進校として行った人権の花・人権標語・人権オープンスクールなどの取組を通して、子どもたちが自他を大切にす道徳的な実践力が向上し、児童間のトラブルが減少している。</p>	<p>・日々の道徳授業や、人権の花・人権オープンスクールなどの取組を充実させ、児童の道徳的な実践力をさらに高め、自他を大切にす児童の育成に努める。</p> <p>・次年度、人権教育推進校2年目の取組として、令和9年1月に、人権推進校報告会を実施し、区の人権教育の充実にも努めていく。</p>	<p>・元気に「おはようございます」と言う子どもが多いように感じる。特に高学年の子どもがしっかりとあいさつできていて素晴らしい。</p> <p>・引き続き、心の教育を大切にすすめていただきたい。</p>
<p>Ⅳ 学習指導等について</p> <p>・学力の定着・向上に向けた授業の改善・充実、習熟度別指導、〇〇タイム、主体的に学習に取り組む態度等の取組について</p> <p>・職場体験等体験活動、自然宿泊体験教室、キャリア教育等の充実について</p>	<p>◎児童の学校評価は、肯定的な評価が9割を越えたが、保護者の学校評価は85.3%(-2.2%)となっており、課題である。</p> <p>◎複線型の学習や学習タイムなどの学び方を学ぶ学習を通して、児童が自己の課題を向けて主体的に取り組む力が付きつつある。</p> <p>◎学習用情報端末の利活用については、概ね賛成で、保護者・児童共に学校評価が高かったが、過度な学習用情報</p>	<p>・次年度、文部科学省の研究開発学校の発表を控えており、課題を自ら選択し、主体的な学ぶことのできる児童の育成に努める。</p> <p>・デジタルとアナログ、それぞれのよさを活かせるよう、学習用情報端末の活用を進めるだけでなく、ノート指導を適切に行っていく。</p> <p>・情報モラル教育を計画的に行い、学習用情報端末の適切な利用方法について指導していく。</p>	<p>・発表のプレゼンなどを見ると、子どもなりにiPadを使いこなしているように感じる。</p> <p>・iPadは学習のためのツールと位置付けているということなので、引き続き情報モラル教育などに取り組み、適切な利用の仕方を指導していただきたい。</p>

	端末の使用について問題意識をもっている保護者もいる。		
V 体育・健康教育について ・体力向上、健康の促進に向けた取組について	◎日々の体育授業だけでなく、運動会、鳥森ランニングなどの体育的行事を通じて、体力の向上を図った。 ◎養護教諭による保健指導の充実を通して、健康の促進に取り組むことができた。 ◎夏季休業期間の変更に伴い、芝生養生期間を短縮した。結果、体育の授業や休み時間で校庭の使える期間が増えた。 ◎学校行事の充実した一方、体育館を使用できる期間が短くなった。	・学校行事と体育的活動の両立に向けて、よりよい形を考えていく。 ・芝生養生期間の短縮に伴う芝生の損傷については、外部の専門家と連携し、維持管理の質の向上に努める。	・気温水温や、熱中症対策など、水泳指導は大変だと思うが、安全に気をつけて実施してほしい。 ・芝生の維持管理は大変だと思うが、子どもが安全に使える維持管理を頑張っていたきたい。
VI 特別活動について ・学校行事の充実、異学年交流活動、クラブ・部活動の充実などについて	◎運動会、展覧会など充実した学校行事への保護者の肯定的な評価が高く、92.1%（+6.4%）と9割を越えた。 ◎にこにこタイムなどの縦割り班活動や1年生と6年生のお相手さん活動など、異学年交流が本校の特色として認識され、高い評価となっている。	・週時程を見直して、授業時間数に関わらず異学年交流の時間を確保することができた。今後も、週時程や年間行事予定を精査しながら、裁量の時間を確保し、異学年交流を継続していく。	・住区の活動などでも、高学年が低学年のお世話をしたり、声を掛けたりが見られ、縦割り班活動の成果が現れているように感じる。引き続き、学校の特色として取り組んでいってほしい。

<p>Ⅶ 学校生活全般について</p> <p><生活指導></p> <ul style="list-style-type: none"> 生活規律の徹底、いじめや不登校の現状と対応、教員の関わり方、特別支援教育への取組などについて 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校全体では、比較的落ち着いた学級が多く、児童の学習・生活も安定し、児童・保護者の評価に繋がった。一方、高学年の一部で、不安定な状況があり、引き続き丁寧に対応していく。 ◎いじめの重大事態になるようなことはなく、落ち着いた学校生活につながった。一方、不登校傾向にある児童は一定数おり、学級担任、養護教諭、スクールカウンセラーが連携して個別に対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 代表委員会によるあいさつ運動など、児童の気持ちを受け止め、よりよい学校になるような取組の充実を図っていく。 不安定な児童、不登校傾向にある児童の対応について、担任を中心に、専科・SC・めぐろ学校サポートセンターなどで連携し、組織的に対応していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校全体が落ち着いているように感じる。個別の対応も多だろうが、引き続き安心安全な学校づくりを行っていただきたい。
<p><防災教育・安全指導></p> <ul style="list-style-type: none"> 事故や災害に関する安全教育や情報モラル教育の充実、安全管理などについて 	<ul style="list-style-type: none"> ◎防災教育について、毎月の避難訓練や安全指導など、児童もしっかり取り組んでおり、保護者・児童とも評価が高い。一方、防犯教育について、保護者の評価が防災教育に比べて評価が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の安全を守るために、想定や安全体制を見直し、引き続き緊張感をもって避難訓練に取り組んでいく。 防犯教育については、ネットトラブルについての対応が急務である。情報モラル教育を計画的に実施するほか、外部の専門家を招くなど、充実を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記の通り
<p><幼・保・小・中連携></p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校や同じ中学校区の小学校との連携について 近隣の幼稚園・保育園との連携について 	<ul style="list-style-type: none"> ◎保育園・幼稚園との交流や、5年生の中学校体験授業、6年生のいじめ問題を考えるめぐろこども会議など、小中連携給食など、連携を深めることができた。 ●小中連携引き渡し避難 	<ul style="list-style-type: none"> 小中連携引き渡し避難訓練については、保護者の参加しやすさを考慮し、日程を変更する。 6年生のいじめ問題を考えるめぐろこども会議は、当日だけでなく、事前の準備や事 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ会議は、子どもたちがしっかり話し合いを行っている様子が見られた。一方、他の活動内容は見えづらく、見える化を図っていく必要がある。

	<p>訓練は連携行事の一つであるが、保護者の参加が難しい日程になってしまった。</p>	<p>後の報告会の充実を図り、いじめを発見できる学校づくりをすすめていく。</p>	
<p>Ⅷ 情報の発信</p> <p>・学校の情報発信の充実について</p>	<p>◎保護者情報システム（Home & School）での情報発信は、学校だより以外の手紙の配信や、来月の行事予定の配信なども行い、利便性の向上に努めた。</p> <p>◎各学年の情報発信だけでなく、専科や学校行事でのホームページの更新が増え、閲覧数が増加している。</p> <p>●学年のホームページの配信には、ばらつきがある。</p>	<p>・引き続き、保護者情報システムの活用を図り、保護者の閲覧数を増やしていく。</p> <p>・児童の学習・生活の様子をホームページ等で伝え、保護者・地域の学校教育活動への理解を深めていく。</p>	<p>・引き続き、情報発信に努めていただきたい。</p>
<p>Ⅸ 教員の人材育成について</p> <p>・日常の職務をとおして専門性と協働性の育成、教育公務員の自覚について</p>	<p>・校務を通して人材育成や若手の勉強会の実施により協働性や一人ひとりの専門性の向上が図られ、教職員の評価の向上につながった。</p>	<p>・引き続き、協働性を発揮できるよう、時間を確保し、教員の人材育成に努める。</p>	<p>・左記の通り</p>
<p>X 教員の働き方改革について</p> <p>・校務支援システムの活用、「チーム学校」を意識した業務分担等、組織的な業務の効率化・最適化について</p>	<p>・毎週の学年会、教職員や関係諸機関との連携、会議のペーパーレス化等を通して、業務の効率化が図られ、教職員の評価の向上につながった。</p>	<p>・引き続き、週時程や年間行事予定の工夫を通して、研究・研修の時間を確保し、連携・情報共有に努める。</p>	<p>・ICTを使って働き方改革をすすめ瑠際には、安全性を第一に考えて取り組んでほしい。</p>

<p>XI サービス事故の防止について</p> <p>・サービス事故防止に向けた取組などについて</p>	<p>◎教職員の肯定的評価は98.0%。校内研修を計画的に、確実に実施するとともに、風通しのよい職場づくりに努めた成果と言える。</p>	<p>・サービス事故防止を徹底し、児童・保護者・地域・関係団体の信頼にこたえる魅力ある学校づくりに今後も努める。</p>	<p>・左記の通り</p>
-------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------	---------------